

公 表 日

平成29年 6月 1日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成29・30年度筑後川下流域浸水被害対策検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 筑後川河川事務所長 富岡 誠司 久留米市高野1丁目2番1号
契約年月日	平成29年 6月 1日
契約業者名	(株) 東京建設コンサルタント
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅南2-12-3
契約金額	39,852,000円(税込み)
予定価格	39,873,600円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	筑後川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成29年 6月 2日
履行期間(至)	平成30年 7月31日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成29・30年度筑後川下流域浸水被害対策検討業務
2. 履行場所 筑後川水系
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区博多駅南2-12-3
会社名：株式会社 東京建設コンサルタント 九州支社
電話：(092) 432-8000
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、筑後川水系下流域における浸水被害対策のため、排水機場再編の事業計画検討を行うものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備
- ・現地踏査
- ・排水機場現行計画及び運用状況の整理
- ・治水安全度評価
- ・既設排水機場の機能診断
- ・排水機場リファイン事業内容の検討
- ・排水機場リファイン事業優先度の検討
- ・整備対象施設の概略設計
- ・整備実施における課題検討
- ・関係機関協議資料作成
- ・報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を23者が入手（ダウンロード）し、5者から参加表明書が提出され、5者が参加資格を有していた。

参加資格を有する5者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「筑後川下流域における排水機場の効果的かつ有効的な改築に向けた留意点」に対する技術提案について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

筑後川河川事務所 調査課長